

大月町文化財報告書・第3集

大月町文化財地図



大月町教育委員会



大月町文化財地図

2000年3月
大月町教育委員会

序

文化財の保護は、国、地方公共団体、国民、所有者及びその他の関係者等が、相互に理解しその協力のもとに進めていくことによって、目的が達成されます。

そして、文化財は、私達の先祖が日々として築いてきた文化遺産であり、一度壊されると再現することが不可能であることを認識し、これらを基盤として現在の文化が形成されていることから、これを保護保存し、将来の文化の創造のためにも次の世代に引き継いでいくことが、現在の私達の重要な課題となっています。

大月町においても、旧石器時代から縄文時代にかけての遺産や中世の山城跡など永い歴史の中で培われてきた人々の生活、文化を現在に伝える文化財が数多く残されています。

近年、大月町でも大規模な開発が急増してまいりました。快適で活力あるまちづくりを進めるための開発と同様に文化財の保護は「歴史と文化の香る大月町」づくりを進めるために大変重要なことだと思います。

今後、この遺跡地図が文化財保護の基礎資料として学術研究や、教育活動等広く活用されることはもとより本町を開発される皆様にも文化財の保護について、より一層の御理解をいただき、円滑な事業推進のために、この遺跡地図が有効に活用されることを願っております。

なお、町内にはまだまだ未発表の貴重な歴史資料が残されている箇所も少くないと思われます。大月町教育委員会では、今後も地道に調査を重ね文化財の所在の周知を図りながら、様々なかたちでその保護に努めてまいります。

最後に、この報告書作成にあたり高知県教育委員会文化財保護室並びに高知県立埋蔵文化財センターの皆さんには、埋蔵文化財表面採取の踏査及び、報告書の構成に多大なるご尽力を賜りましたことを感謝いたします。

今後も、大月町の文化財保護のために、ご理解ご協力をお願いいたします。

2000年3月

大月町教育委員会
教育長 市原 正盛

例言

- 1) 本書は、高知県教育委員会が、昭和61年度から平成7年度にかけての10カ年に国庫補助事業として実施した遺跡詳細分布調査の結果及び、平成10年度から平成11年度にかけての2カ年に、大月町教育委員会が国庫補助事業として実施した遺跡分布調査結果を基礎に作成したものである。
- 2) 本書は、大月町の史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地を記入した全域地図、一覧表及び詳細説明からなる。
- 3) 遺跡の存在は、その範囲を赤で示し、県史跡は緑で示した。散布地等については、遺構や包含層が広がっていると推定される区域である。埋蔵文化財は、地表観察だけでは正確に把握しえないので、今後も遺跡地図は、資料が追加・補正されるべき性格をもつてることを理解されたい。なお、消滅した遺跡については破線で示してある。
- 4) 本書の編纂は、高知県教育委員会文化財保護室及び高知県埋蔵文化財センターの協力を得て、大月町教育委員会が当たった。
- 5) 遺跡の位置等について、更に詳細に確認したい場合には、大月町教育委員会に照合されたい。
- 6) 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を50%に複製縮小したものである。
「この地図は、国土地理院の承認を得て作成 “平12 四複 第19号”」
- 7) 本書に掲載した地図は、大月町の承認を得て、町発行の2千分の1地形図を50%に複製縮小したものである。
昭和55年 四会 第11号

目次

序	2
例 言.....	3
1.町内全域文化財地図	5
2.町内文化財一覧表	9
3.町内文化財詳細説明	13
4.資 料.....	89
I. 埋蔵文化財関係手続きフローチャート	90
II. 文化財保護法・遺失物法抜粋	91



1

竜ヶ迫しの舞

町内全域文化財地図

1



A

B

C

D

E

2

3

4

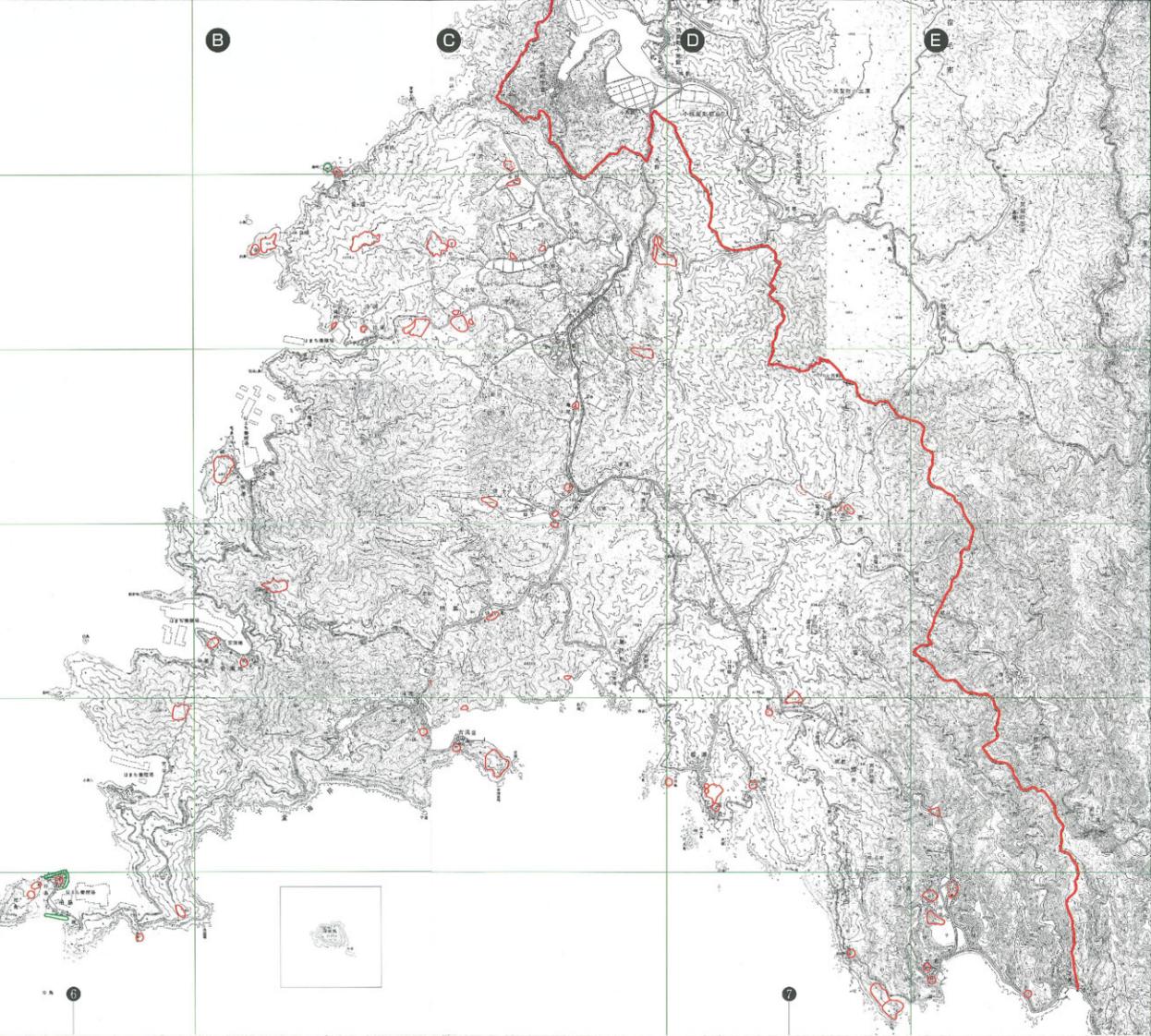
5

6

7

凡 例

- 県指定史跡
- 町指定文化財

1 : 50,000
0 1,500m

6



2

赤泊太刀おどり

町内文化財一覧表

●大月町埋蔵文化財一覧

全域地図番号	ページ番号	名 称	所 在 地	種 別	現 状	時 代	備 考
C - 3	47	弘見城跡	大月町弘見字古城ノ下	城跡	山林	室町	
C - 2	27	ナシケ森遺跡	大月町弘見字ナシケ森	礫窓地盤	山林、田、畑	昭和~散開	
C - 2	28	大内遺跡	大月町弘見字大内	散布地	田、畑	旧石器	
C - 2	29	小谷山遺跡	大月町弘見字小谷山	散布地	田、畑	縄文	
C - 2	30	ナシケ森II遺跡	大月町弘見字ナシケ森	散布地	畑	昭和~散開	
C - 3	31	ヤナセ川遺跡	大月町弘見字ヤナセ川	散布地	田、畑	縄文	
C - 3	32	池田遺跡	大月町鋸土字池田	散布地	田、畑	旧石器	
C - 4	33	フキノ谷山遺跡	大月町鋸土字フキノ谷山	散布地	田、畑	旧石器	
C - 3	34	鋸土越遺跡	大月町鋸土字鋸土越	散布地	田、畑	旧石器	
C - 3	24	ニツ石道標	大月町鋸土(ニツ石)	道標	旧道	明治	
C - 4	35	タテ南附遺跡	大月町須集字タテ南附	散布地	田、畑	縄文	
C - 5	36	赤鳥山遺跡	大月町須集字赤鳥山	散布地	荒廃地	不明	
C - 4	78	大坂城及び名古屋城築城の残り石	大月町須集(県道沿)	石垣 生産地跡	県道	安土桃山江戸	平成5年12月22日町指定
C - 5	65	古満目櫻台跡	大月町古満目字古満目向	駄台跡	山林	江戸	
C - 5	66	古満目火立場跡	大月町古満目字古満目向	狼煙場跡	山形くぐ庵	江戸	
B - 5	74	三浦一族の墓	大月町古満目字八幡森	古墓	墓地	江戸	
C - 5	84	春日神社の水あびせ	大月町古満目(春日神社)	祭り		江戸	
A - 6	48	岩田ヶ城跡	大月町伯島字岩田ヶ城	城跡	竹林一部廢	室町	
A - 6	80	柏島石堤	大月町伯島字波戸場ノ脇 他	石堤	堤防	江戸	昭和28年1月29日町指定
A - 6	67	大堂火立場跡	大月町柏島字大堂山	狼煙場跡	公園	江戸	
A - 6	75	山内隼人、采女父子の墓	大月町柏島(大黒山中腹)	古墓	墓地	江戸	平成5年12月22日町指定
A - 6	85	観音岩	大月町柏島(離の浜)	自然			
A - 6	26	柏島経塚	大月町柏島(公民館横)	経塚			平成6年9月20日町指定
B - 4	49	安満地城跡	大月町安満地字泊崎	城跡	山林	室町	
A - 5	68	安満地火立場跡	大月町安満地字勤山	狼煙場跡	山林	江戸	
B - 4	81	安満地稲荷神社本殿	大月町安満地字宮添	建物			
B - 3	50	橋浦城跡	大月町橋浦字コシ浦跡	城跡	山林	室町	
B - 4	69	橋浦火立場跡	大月町橋浦字奥轟山	狼煙場跡	山林	江戸	
B - 2	51	古泊城跡	大月町泊浦字シロノ峯	城跡	畑、荒蕪地	室町	
B - 2	52	泊浦城跡	大月町泊浦字シロノヲ	城跡	山林	室町	
B - 2	53	西泊浦城跡	大月町泊浦字シロノヲ	城跡	山林	室町	
B - 2	79	震洋船格納場跡	大月町泊浦字古泊	戦跡			
B - 1	37	童ヶ追遺跡	大月町童ヶ追字タツカサゴ	散布地	宅地、畑	旧石器	
B - 1	86	童ヶ追し舞	大月町童ヶ追(天満宮)	舞形文化財			昭和44年6月8日町指定
B - 2	38	ムクリ山遺跡	大月町芳ノ沢字ムクリ山	集落跡	山林	縄文~弥生	
B - 2	54	内平城跡	大月町芳ノ沢字ホリ山	城跡	山林	室町	
C - 1	55	正塙跡	大月町芳ノ沢字正塙下	城跡	山林、畑	室町	一部消滅

●大月町埋蔵文化財一覧

全域旅游番号	ページ番号	名 称	所 在 地	種 別	現 状	時 代	備 考
C - 2	56	芳ノ沢城跡	大月町芳ノ沢古城	城跡	白室社・山林	室町	一部消滅
B - 2	71	白崎火立塙跡	大月町芳ノ沢字トオミ山	狼煙場跡	山林	江戸	
B - 2	70	白崎曳石跡	大月町芳ノ沢字シタノウラ	砲台跡	山林	江戸	
C - 2	39	コヤケシタ遺跡	大月町芳ノ沢字コヤケシタ	散布地	田、畠	縄文	
C - 2	18	薬師堂の菩薩形立像	大月町芳ノ沢字堂ヤシキ	彫刻			平成6年9月20日町指定
C - 2	17	薬師堂の如来座像	大月町芳ノ沢字堂ヤシキ	彫刻			平成6年9月20日町指定
C - 2	19	薬師堂の十二神将	大月町芳ノ沢字堂ヤシキ	彫刻			平成6年9月20日町指定
C - 2	57	添ノ川城跡	大月町添ノ川字城山	城跡	山林		
C - 2	40	添ノ川城ノ西邊跡	大月町添ノ川字城ノ西	散布地	水田、畠	室町	
C - 2	41	添ノ川井戸敷遺跡	大月町添ノ川字井戸敷	散布地	水田、畠	室町	
E - 6	58	北才角城跡	大月町才角字ハンヤマモリ	城跡	国道、山林	室町	一部消滅
E - 6	59	才角城跡	大月町才角字城ノハナ	城跡	山林、公園	室町	
E - 5	42	カルモ力遺跡	大月町才角字カルモ力谷	散布地	畠、国道	縄文	一部消滅
E - 6	80	西ノ路城跡	大月町才角字西ノ路山	城跡	山林	室町	
E - 6	83	才角化石灘痕	大月町才角	化石灘痕			平成6年9月20日町指定
D - 6	22	月山化石灘痕	大月町才角(月山神社脇)	化石灘痕			平成6年9月20日町指定
D - 6	21	月山大師堂	大月町才角字月山	建造物			平成6年9月20日町指定
D - 6	20	月山神社	大月町才角字月山	建造物			
D - 6	73	大浦火立塙跡	大月町大浦字朴ノ川山	狼煙場跡	山林	江戸	
E - 6	72	大浦砲台跡	大月町大浦字上朴ノ川山	砲台跡	山林	江戸	
E - 6	25	石の下地蔵	大月町大浦字マツチダ	古墓			
E - 6*	23	遍路道遺跡	大月町大浦(旧道登口)	道標			
D - 5	61	姫ノ井城跡	大月町姫ノ井字古御堂	城跡	山林	室町	
D - 5	82	円福寺跡	大月町姫ノ井字延福寺	寺社跡	山林、畠	室町～江戸	
D - 4	62	愛宕城跡	大月町姫ノ井字愛宕山	城跡	山林	室町	
D - 5	87	赤泊太刀おどり	大月町赤泊(音無神社)	無形文化財			町指定
D - 5	63	西泊城跡	大月町西泊字上ノ丸	城跡	山林	室町	
D - 5	15	高間寺薄蒔如来座像	大月町西泊字下蛭	彫刻			
D - 5	16	高間寺十一面觀音吉蔵座像	大月町西泊字下蛭	彫刻			
D - 5	76	五輪塔地蔵群	大月町西泊字上ノ丸	古墓			
D - 5	77	河内庄屋一族の塚墓と墓碑	大月町西泊字上ノ丸	古墓			平成5年12月22日町指定
D - 5	88	弁天島	大月町桜ノ浦字弁天島	自然			
C - 4	43	尻貝遺跡	大月町周防形字尻貝山	散布地	山林	縄文	集落跡の可能性有り
D - 3	64	春遠城跡	大月町春遠字ビヤノクシ	城跡	山林	室町	
D - 3	44	八反地遺跡	大月町春遠字八反地	散布地	畠	室町	消滅
D - 3	45	工ノ木谷遺跡	大月町春遠字工ノ木谷	散布地	畠	室町	消滅
D - 3	46	津ノ木滝跡	大月町春遠字神ノ木他	散布地	畠	室町	消滅



3

春日神社の水あひせ

町内文化財詳細説明

高間寺釋迦如来座像

全域地図 □ - 5



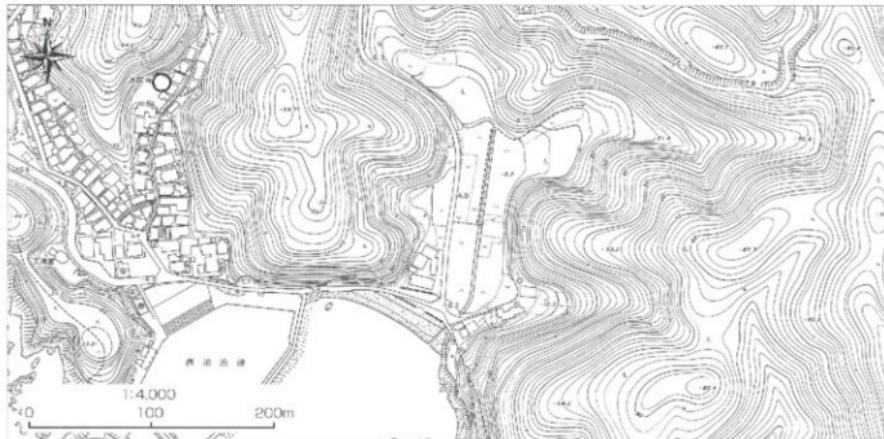
所在地 西泊字下畑（西泊高間寺本堂）

特 徴 仏像は江戸時代の作で本像は桧材の寄木造像で、像高25.5cm。

玉眼嵌入で体幹部は内削りを施していない。木の寄せ方は頭部を前後三材矧ぎとし、二道下で左右三材矧ぎの体幹部に挿し込み膝前は横材、両脚付根には三角材を矧ぎ、衣先を矧いでいる。右手は肘から先を矧ぎ、これらに手首から先を挿し込み、左手は衣とともに肘で矧ぎ、手首から先を右手同様挿し込んでいる。

螺髪を群青で他は漆箔である。現在頭部が前傾し、漆箔も剥落しているが、総じておだやかな作である。

この仏像は岡山県華光寺より奉安されたと云われている。



高間寺十一面觀音菩薩座像

全域地図 D-5

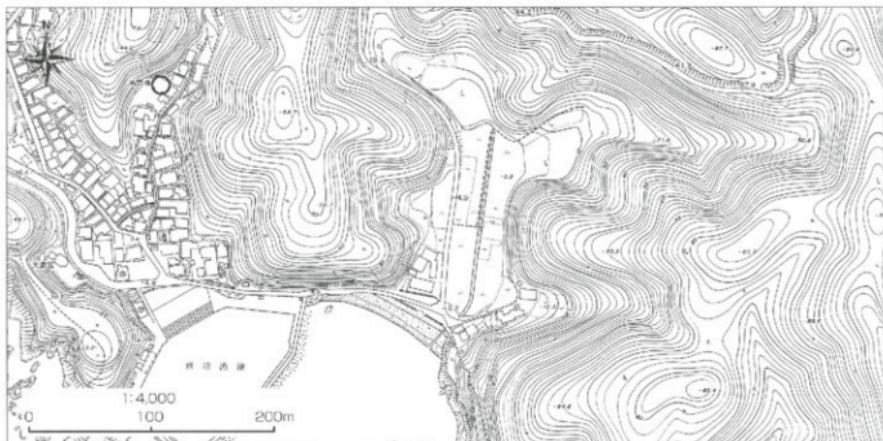


所在地 西泊字下畑（西泊高間寺本堂）

仏像は江戸時代の作で本像は桧材の寄木造像で、像高50cm
彫眼は内割りではない。

頭体幹部を一本より彫っている。頭上仏はいずれも別材で
彫り挿し込んでいたものが現在は頭上仏を除きすべて失
われている。

宝髪を群青で、唇に朱をさす以外は漆箔であり、面部と上
半身の彫りにみるべきものがある。この仏像は岡山県華光
寺より奉安されたと云われている。



薬師堂の薬師如来座像

全域地図 C - 2



所在地 芳ノ沢字堂ヤシキ

内平龍光寺薬師堂

特 徴 仏像は室町時代の作で、本像は桧材、彫眼の寄木造像で、像高22cm内刳りを施している。頭部は三道下で前後矧ぎの体幹部に挿し込み、両肩先で縱に矧ぎ、両手肘から先と手首から先を別材とするも、現在は右手首から先と左手先を失している。

低い肉髻、螺髪は群青で他は漆箔である。

ゆったりとした膝張に、まとまりのある造形感覚がみられる。

平成6年9月20日 大月町文化財指定



薬師堂の菩薩形立像

全域地図 C-2



所在地 芳ノ沢字堂ヤシキ

内平能光寺薬師堂

特 徴 桧材一本造り像高16.5cmの彩色像である。作りが小さいため時代は判明し難い。

右手をさげ、左手を屈臂しているが、両手とも肘から先を欠失している。現在面部左半分を損傷し、後頭部、腹前の衣文、天衣の一部にも損傷が認められる。

彫り口は粗放であるが、面部右半分には張りがある。薬師如来像の脇侍、日光、月光菩薩のうちの一躯が残ったものと考えられる。

平成6年9月20日 大月町文化財指定



薬師堂の十二神将

全域地図 C-2



所在地 芳ノ沢字堂ヤシキ

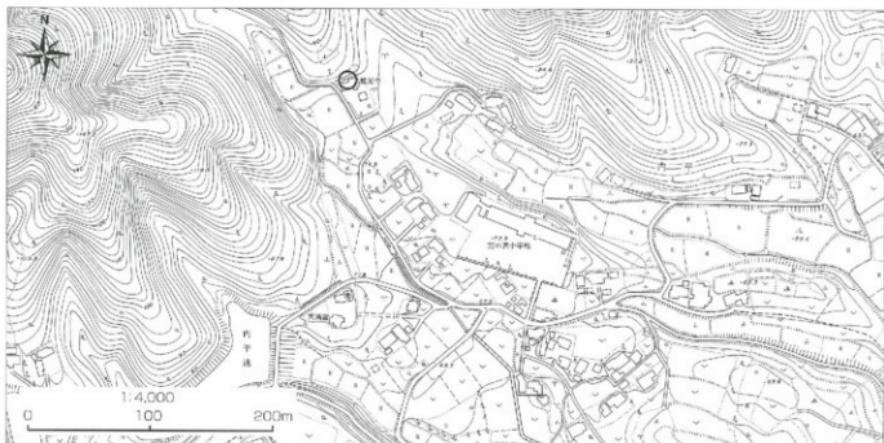
内平龍光寺薬師堂

特 徴 像高12~13cmの立像でいずれも桧材一本造りの彩色像である。

現在は十二神将のうち10軀が残っている。

菩薩形立像と同じく作りが小さいため時代は判明し難い。

平成6年9月20日 大月町文化財指定



月山神社

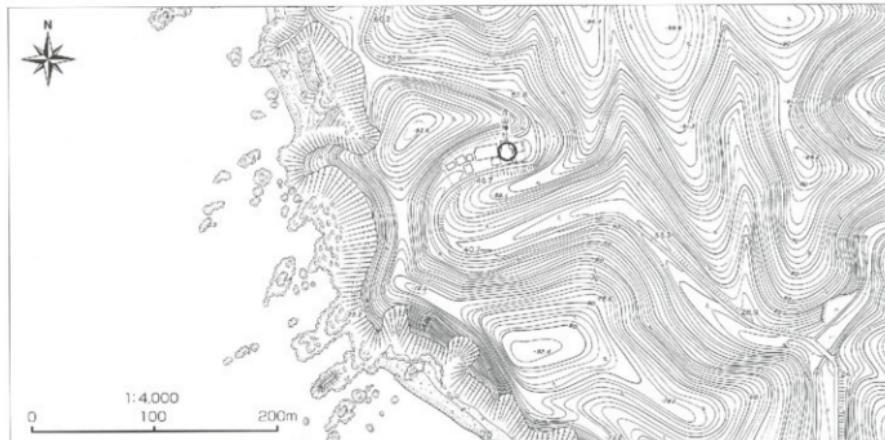
全域地図 D - 6



所在地 才角字月山

建築年 明治22年

規 模 月山神社は伝承によると奈良時代の頃、僧行基の開基と云われ守月山月光院南照寺と称され両部習合(神仏混合)の靈場(四国八十八ヶ所番外札所)であったが、明治元年3月の通達により月山神社と改称。本殿の母屋柱は四本の大きい丸柱を立て、前面の母屋と裳階をつなぐ海老虹梁を用い角柱で支えている。桁行2.47m、梁間2.25mの母屋を中心に、その前方と左右に庇をつけ、高欄つきの回縁をめぐらしている。四本の母屋柱の上及びその中間には三手の斗拱が組まれ、左右側面の斗拱には尾捶が斜下につきだしている。建築は入母屋日吉造り風で変化があり、屋根はコケラ葺を銅板でおねっている。回縁の奥並びに組物には彫刻類が多くあり、町内には例を見ない建物で、建築にあたった大工は、中澤章次 香美郡山南村(現:香我美町)である。



月山大師堂

全域地図 D-6



所在地 才角字月山(月山神社境内)

建築年 安政5年(1858年)頃

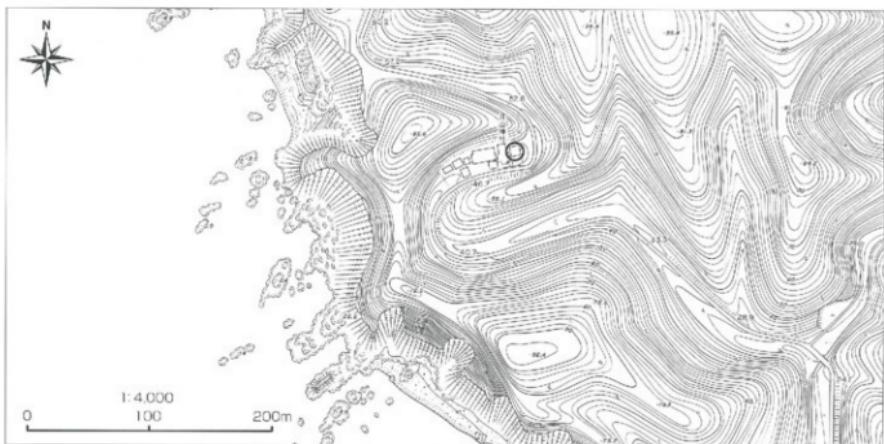
規 模 柱行4m、梁間4m、宝形造りで軒丸瓦を使用し平瓦葺。

向拝の虹梁にいた象頭木鼻並びに蟇股の彫刻は優美で斗拱を密に配置し均整の取れた落ち着きのある建築である。

天井には河田小龍や絵金などの絵馬が58点奉納されている。

空海が壺石の前に廿三夜月待の密行を行い、それにより旧暦1月23日を例祭にされたと云われている。

平成6年9月20日 大月町文化財指定



月山化石漣痕

全域地図 D-6



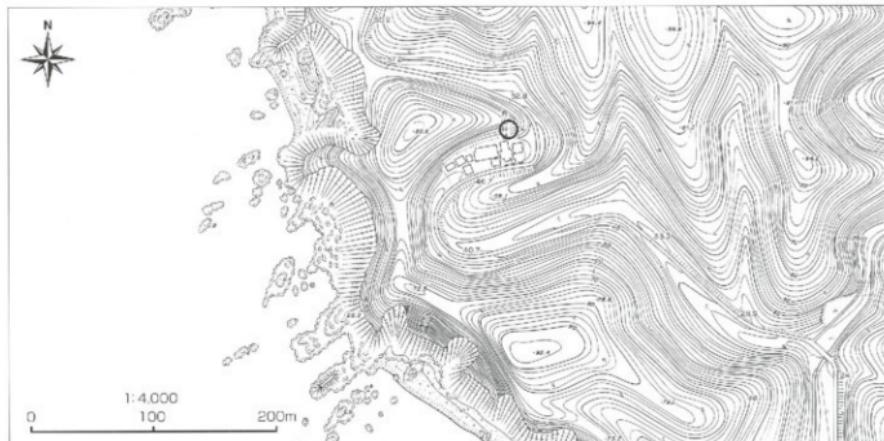
所在地 才角(月山神社脇)

現 状 月山神社の御神体三ヶ月石の台座になっている。

大きさ 横4.5m~5.6m

特 徴 湖岸や海岸の地層、特に砂岩の地層面に、波または水流の運動によって印された波状の痕があるが、ここに見られるのは、標高約80mの山上にあることから、海底が隆起したものと考えられる。

平成6年9月20日 大月町文化財指定



遍路道道標

全域地図 E - 6



所在地 大浦旧道登口

建立年月 明治17年8月

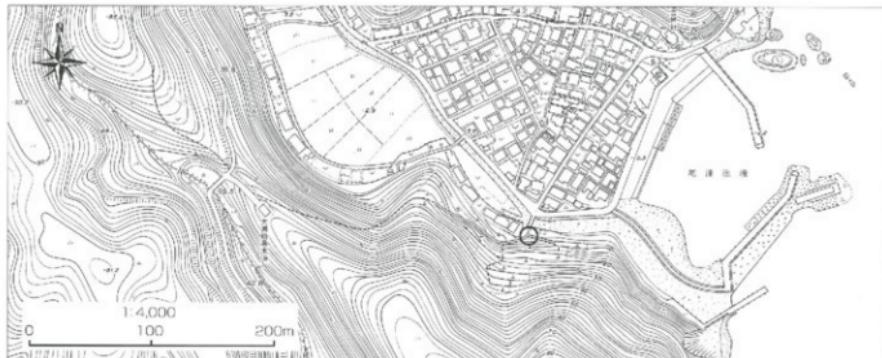
型 自然石

大きさ 高さ 90cm

幅 45cm

沿革 大浦から月山への登り口にあり、苔むしているが、建立された当時のままである。「旅人の心は月の山影を導くために建つるいしぶみ」の歌詞と「從是月山神社迄十八丁半」とある。また、左下には香美郡山南村(現：香我美町)中澤章次と刻字されている。なお、この他発見できた道標は、19丁、16丁、15丁、11丁、8丁、十文字、7丁、5丁、4丁の計10本である。

※中澤章次は一家で月灘に移り、5年をかけて月山神社の改築にあたった大工である。



ニツ石道標

全域地図 C-3



所在地 鉢土(ニツ石)

建立年月日 明治13年 辰

型 自然石

大きさ 高さ115cm

沿革 坂本家の後ろの旧道沿いに
少し風化しているが、昔の
名残りがわかる状態で残っ
ている。札所(寺山)番外札
所(月山)への距離を示すた
めの道標。この道標には次
のようなことが刻まれてい
る。

【右面】月山へ三リ

【左面】寺山ハ四リ半



石の下地蔵

全域地図 E-6



所在地 大浦字マツチダ

規模 大浦の大師堂前に帽子をかぶった丸彫りの延命地蔵があつて(座像)、その西に大きなウバメガシの老木が幹を横に張り出し、根元に大石が三角形に組み合わした様になっている。この石の下に5体の小さな地蔵が安置されている。いずれも30cm位の舟形半肉彫りの地蔵で、赤や黄のよだれかけをついている。

伝承 安産の祈願が古くから行われ、また耳の仏としても信仰が厚く、願ほどきには年令の数だけ小さな海の白石を供える風習がある。



柏島経塚

全域地図 A - 6

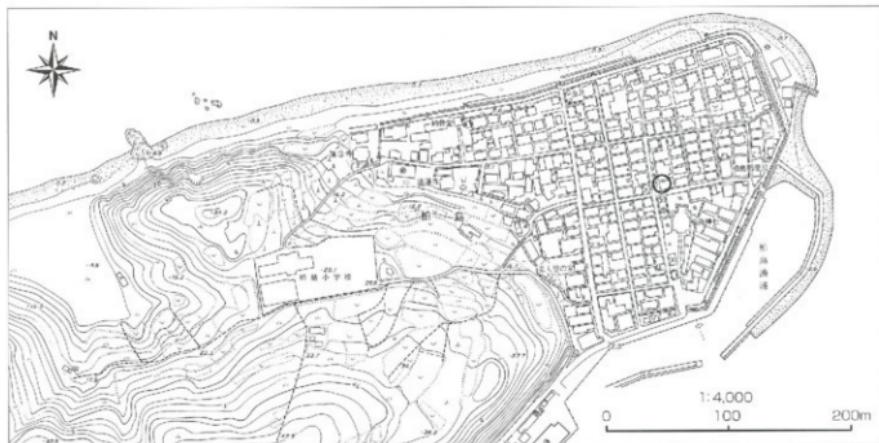


所在地 柏島(柏島公民館横)

規 模 塚の高さ160cm、幅33cm、角台座二段54cm、全高214cm。

右側に「天保三年辰七月上旬十三世日宣立之」、正面「南無妙法蓮華經」、左側に「奉書一石一字妙□□□浦中安全海上□□」と、刻まれている。天保元年(1830年)以来漁業不振、悪病流行が続いたので日宣が経塚建立を考え、有志に計り網代の浜に六坪ほどの敷地をつくり、法華經を一石一字に納め、これを埋めてその上に経塚を建立した。その後、兼山の造った火除けの堤防に変化が生じた時、経塚を現在地に移転。以後、正月20日に祭りを行っている。

注)□とあるのは風化等のため判読できない。



ナシケ森遺跡

全域地図 C - 2



所在地 弘見字ナシケ森

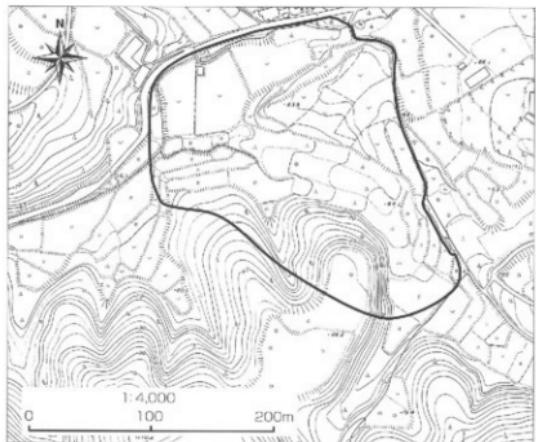
現 状 標高65m～85mの傾斜地と丘陵地

時 代 後期旧石器～縄文早期

種 別 石器原産地遺跡

特 徴 平成5年に中村市の考古学研究者によって当地が発見された。平成6・7・8年と大月町教育委員会学術調査が実施され、調査の結果、木葉形尖頭器をはじめナイフ形石器、敲石、楔形石器、石核、削器他、多数の剥片が出土し、さらにその下から珪質頁岩の岩盤が出土した。平坦部では、多量の大分県姫島産黒曜石が出土し九州と深い関わりがあったことが分かった。平成10・11年度は圃場整備事業に先立ち試掘調査を実施した。楔形石器、敲石、石核、削器、多数の剥片が出土した。石材は敲石(砂岩製)を除いてすべて珪質頁岩である。

出土遺物実測図



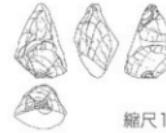
尖頭石器



面加工石



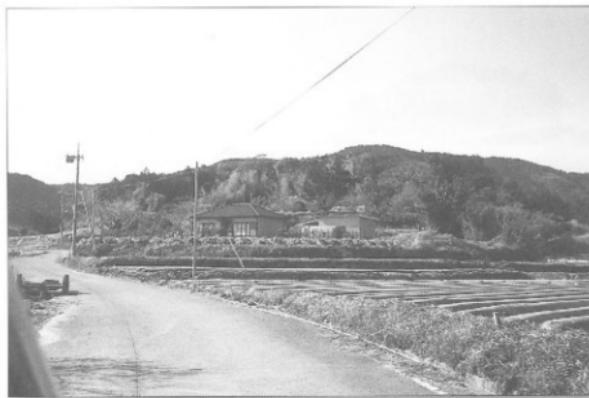
掻 器



縮尺1:4

大内遺跡

全域地図 C-2



所在地 大月町弘見字大内

現 状 田畠

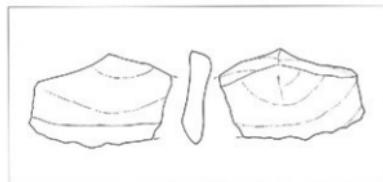
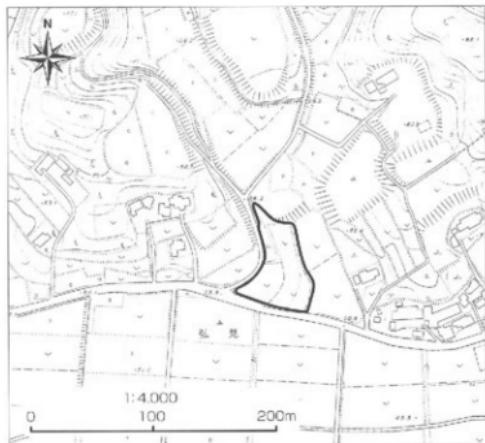
時 代 旧石器時代

特 徴 緩やかな段丘上に立地している。

翼状剥片が1点採取されている。旧石器時代のナイフ形石器を作る際の素材となる剥片で、瀬戸内地方に特徴的に見られる旧石器時代の石器製作技法により、作り出される剥片である。石質は周辺城で採集できる珪質頁岩である。

表採資料実測図

縮尺1:2



小谷山遺跡

全域地図 C-2



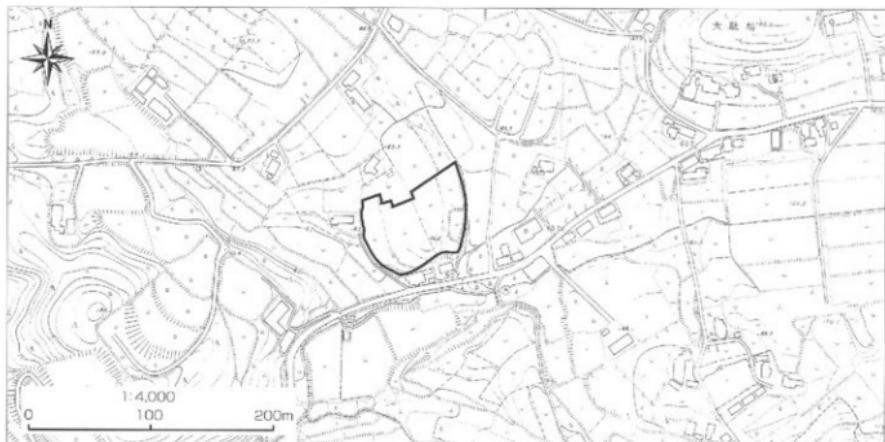
所在地 大月町弘見字小谷山

現 状 田畑

時 代 繩文時代

特 徴 緩やかな段丘上に位置しており、小谷を挟んで旧石器・縄文時代のナシケ森遺跡がある。

採集された遺物は大分県姫島産黒曜石製の石鎌、頁岩製石鎌、珪質頁岩製剥片、石核である。石鎌は縄文時代に含まれるものであり、剥片類、石核の中には旧石器時代の遺物の可能性のあるものが含まれている。



ナシケ森II遺跡

全域地図 C-2



所在地 弘見字ナシケ森

現 状 畑

時 代 後期旧石器～縄文早期

特 徴 ナシケ森遺跡の東に隣接する畠で、表面採取によりチャート(石材)の石鎌や、大分県姫島産黒曜石、珪質頁岩の剥片が発見された。その為、ナシケ森遺跡と関連の深い遺跡ではないかと思われる。

